

東京 11 発走 15:40 第62回安田記念 (WIN5対象レース・5)

馬単 7→11 7→4 7→14 7→10 7→13 7→17 7→5 7→10 7→13 7→17 7→10 7→13 7→17

本紙の見解 実力馬がそろったが、そのそれぞれが小さく死力を抱えていて難解な一戦。有力馬でもっとも死力が少ないのがサダムパテック。安定性は最上位とみて、中心に期待したい。

柏木の復讐 初の千六だが、もともとマイル型血統背景をもち、天皇賞(秋)を1分56秒3。ペルーサは十分なスピード能力を備えている。気合をつけ日ペルーサを走らせたい。

芝1600 安田記念レコード 1分31秒7 ショウワモダン 58歳 藤 22年

11R 3連複 4711 7114 5711 7101 7113 7117 4714 457 4710

11R 3連単 7 4510 111314 4510 111314 (30点)

代好走馬の条件とも合致している。千六なら折り合いの心配はいらないし、前走で完全復活を示したのも心強い。稽古内容からは、休み明けを叩かれた上積みも見て取れる。

血が騒ぐ山野浩一 安田記念はジャパンCに次いで多くの外国調教馬が出走するレースで、世界で2番目に良く知られた日本のレースといえるだろう。

東京 芝→良~重 ダ→稍~重 阪神 芝→良 ダ→良

11R 3連複 4714 48.0 5714 48.0 457 57.5 4710 57.8 4713 63.5 4514 68.7 4710 89.2 71314 99.0 21713 102.7 41014 107.9 5713 110.5 2157 112.0 2415 112.0 2414 114.4 5710 114.9 4717 115.1 4715 115.8 5714 115.8 21714 117.6 71014 121.4 2413 125.9 4510 128.2 2410 132.0

11R 3連単 7 4510 111314 4510 111314 (30点)

11R 3連複 4714 48.0 5714 48.0 457 57.5 4710 57.8 4713 63.5 4514 68.7 4710 89.2 71314 99.0 21713 102.7 41014 107.9 5713 110.5 2157 112.0 2415 112.0 2414 114.4 5710 114.9 4717 115.1 4715 115.8 5714 115.8 21714 117.6 71014 121.4 2413 125.9 4510 128.2 2410 132.0

確定後情報

①ダノンヨーヨー
動きは良化
音無師匠の久々の前回は完調にはなかつたよう。いいころのうらさかが出てきて、動きは明らかに良化。展開に注文はつづくが、この前のようなことはない。

②ガルボ
究極の仕上げ
清水英師の2番枠なら、この馬の器用さが存分に生きそう。ここを目標に究極の仕上げ、稽古の動きも申し分ないので、GIのこのメンバーでも楽しみ。

③グランプリボス
矢作師の枠順に泣かされ続け
きたが、待望の枠が当たった。こならうまく脚をタメられるはず。気持ちも入って間違いない。気持ちはいい。

④ストロングリターン
橋本助手の久々の前走はハミを噛んだが、一度使ったこと折り返し面もストロウになるはず。上積みは十分、前に壁を作るぶん、この枠も理想的。

⑤ラッキーマイン
ファウンズ師の金曜朝の反応
よく、調教後の様子もいい。レースごとにタフになって今後は、楽しみ、枠順にも満足している。

⑥スマイルジャック
小松山師の金曜朝もウツドで
流したが元気一杯。いい感じに仕上がった。いい枠を引いたし、まだまだ終わってはいないというところを見ている。

⑦サダムパテック
西園師の上手に立ち回れるから
気にしなかったが、流れに乗って行けるいい枠。調子の波が少なくデキ安定。堅実駆けが長所を展開したいでチャンス。

⑧エインシアポロン
中山助手の最終追い切りは文句なしの動き。
納得の行く状態で出走できる。レース上手で枠順に左右されないタイプ。自分のリズムを崩さずに運べれば、

東京 T.M.イナバ 7 サダムパテック
11R 1600 1000 800 600 200 3脚いろ
①ダノンヨーヨー 栗坂 北友 52.2 13.1 一杯通併

②ガルボ 南P良 65.1 50.2 37.1 11.5 一杯通併
③グランプリボス 栗坂 小慎 53.9 38.8 12.2 一杯通併

④ストロングリターン 南W稍 65.3 50.5 36.5 12.8 一杯通併
⑤ラッキーマイン 東京芝良助 手 79.9 65.7 51.8 38.8 12.1 馬なり

⑥スマイルジャック 南W稍 83.6 68.0 53.7 39.9 12.8 馬なり先
⑦サダムパテック 栗坂 ウィ 51.2 37.5 12.4 末一杯先

⑩アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併
⑪エインシアポロン 栗坂 池添 51.6 37.8 12.5 一杯通併

⑫ドナウブルー 栗坂 萩要 51.8 38.0 12.2 一杯通併
⑬シルポート 栗坂 小牧 51.9 37.6 12.4 前通併

⑭グロリアステイズ 白井 51.9 37.6 12.4 前通併
⑮リアルインパクト 南W稍 67.3 50.7 37.8 12.5 一杯通併

⑯ローズキングダム 栗坂 後藤 52.3 38.1 13.2 末強め
⑰マルゼリ 栗坂 貞良 97.3 67.0 53.1 39.5 12.5 一杯通併

⑱アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併
⑳アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併

㉑アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併
㉒アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併

㉓アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併
㉔アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併

㉕アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併
㉖アバパネ 北C良 95.1 65.9 51.9 37.9 12.0 前通併

安田記念
年場所 1着馬 2着馬 3着馬
14東京 1600 58頭 187.7 33.3

最近10年間の成績
前走⑤着以内十回以上
重賞勝ちあり②⑤⑥

今年の安田記念は、いつにも増して難解。大半の馬が勝ち負けして不思議なのが、みんな死闘もある。前日段階では、だれが番人気も読みにくい。

安藤勝己騎手(52)は、厳選の騎乗で今年(89年1565)。やさしくなつてしまつたが、ペルーサにはもう少年ではないから、ムチを10発ぐらい入れていないか、覚醒させた。レースは、苦しくなつたらヤメてもいい遊びではないことを、青年になつたペルーサに叩き込みたい。

⑩アバパネ
国枝師の間隔詰まつているし
前走⑤着以内十回以上
重賞勝ちあり②⑤⑥

⑪エインシアポロン
中山助手の最終追い切りは文句なしの動き。
納得の行く状態で出走できる。

⑫ドナウブルー
石坂師の再度の東京遠征だが
使つた後も状態が良く調教をしつかりやれていて、相手関係は違つてくるが、自分の力だけで走つてくれればと思つている。

⑬シルポート
西園師の上手に立ち回れるから
気にしなかったが、流れに乗って行けるいい枠。

⑭グロリアステイズ
ホワイト騎手も落ち着いて
いる環境にならざるを得ない。柔軟な位置取りができるし、持ち味は最後に加力。良なら強いところを見せられるはず。

⑮リアルインパクト
橋本助手の馬が気を抜かない
ように馬具を工夫しながら調整してきたし、馬体に張りが出て体調も上向き。昨年のような前々の競馬で巻き返しを期待。

⑯ローズキングダム
橋口師の取りたい位置は取れ
るし、この距離はむしろ乗りやすいと思う。身上の瞬発力を東京コースでフルに生かされれば、

⑰マルゼリ
今季は好調
松田博師の中2週と間隔は詰まるが、今季は好調で前走の状態を維持している。

⑱ローズキングダム
橋口師の取りたい位置は取れるし、この距離はむしろ乗りやすいと思う。

⑲ベルーサ
藤沢和師の体もだいぶ締まつてきた。初距離だが、鞍上もスタートから容赦なく出していくだろうし、そこでもう流れていければ、期待馬だけに今後に向けても頑張つて欲しい。

⑳ベルーサ
藤沢和師の体もだいぶ締まつてきた。初距離だが、鞍上もスタートから容赦なく出していくだろうし、そこでもう流れていければ、期待馬だけに今後に向けても頑張つて欲しい。

㉑ベルーサ
藤沢和師の体もだいぶ締まつてきた。初距離だが、鞍上もスタートから容赦なく出していくだろうし、そこでもう流れていければ、期待馬だけに今後に向けても頑張つて欲しい。

